

事業所名

にじの空

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

12日

法人（事業所）理念		個性に七色 ～心が安らぐ居場所から、自信への虹をつなぐ～						
支援方針		子どもの最善の利益を保障するとともに、本人や家族にとって安心できる環境を提供する 様々な活動を通して、生活の充実と自立を目指す 共生社会に向けた支援を行い、地域に馴染めることを目指す						
営業時間		平日	10時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
		土・長期休暇	10時	00分	16時	30分		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	日々の健康チェックを行いながら、片付け・手洗い・排泄等身辺自立に向けた声がけや視覚的にわかりやすい支援を心がけている。また、健康的な生活が送れるよう、食育としてクッキングを取り入れたり、公園で体を動かすなど、メリハリのある支援としている						
	運動・感覚	粗大運動、微細運動として「座る」「立つ」「歩く」「走る」等の身体を大きく使う動作の訓練や、字を書いたり、箸を使ったり、積み木で遊ぶ等の手先の器用さを養う訓練を行い、基本的な生活動作を身につけていく						
	認知・行動	ビジョントレーニングや音を使ったリズム遊び、ブロックや廃材等での創作活動で立体を認識するなどの他に、スライム等の感触遊びや時計を意識した支援						
	言語 コミュニケーション	SST活動として、他児とのコミュニケーションが難しい、言葉がたどたどしい、感情のコントロールが難しい等、個々の困りごとに対して個別に訓練するほか、集団あそびを通して楽しみながら習得できるようにしている						
	人間関係 社会性	小集団での活動を通してルール等を学びながら、子どもたちの社会経験の場が制限されてしまわないよう、地域のお店でお買い物体験を経験したり、課外活動を通して社会経験の場を広げている						
家族支援		家族や取り巻く環境の状況をしっかり把握し、個別相談の時間を設けながら助言している。場合によっては外部の方も（相談員等）も巻き込みながら、相談できる（味方になれる）方々の選択肢を増やしている。				移行支援	児童館との併用利用や、学校生活に馴染みながら集団での生活のルールやマナーを守り、仲間とともに心地よい生活が送れるよう、学校や保護者との会議を重ねながら社会に参加する練習（支援）を行っている。	
地域支援・地域連携		学校、他事業所、サービス指導課、相談支援専門員等と連携し、利用児・家庭の共有や、支援方針のすり合わせ、今後の方針について会議等を持ちながら切れ目のない支援を目指している				職員の質の向上	日々の会議での共有、共通認識のもと全職員が評価会議や支援会議等に参加している。また、内外研修に参加し資質向上に努めている。	
主な行事等		夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等 については、保護者にも参加してもらい、保護者同士の交流の場にもなるよう企画している						夏祭りに